

## 男子100kg 超級

### 準決勝戦第1試合

3 木村 純 (旭化成)	内股	6 生田 秀和 (ALSOK)
-----------------	----	--------------------

生田は、オール一本勝、多彩な立技と俊敏な動きの寝技で準決勝戦まで勝ち上がる。この絶好調の生田に、心境著しい巨漢木村が挑む一戦。しかし、開始早々、生田は左引手を深く握り、次いで右釣手を掴み、一呼吸を置いたその瞬間の開始37秒、素早く、深く飛び込む内股で、巨漢木村を大きく宙に舞わせ、畳に落下させる。久しぶりに出場した生田が豪快な一本勝で7年ぶりに決勝戦進出を決める。

### 準決勝戦第2試合

4 西村 久毅 (了徳寺学園)	一本背負投	4 市川 裕治 (京葉ガス)
--------------------	-------	-------------------

西村は、両襟を取る変則組み手、市川は右組み。試合開始直後両襟を取った西村は、市川が大外刈、大内刈、内股と仕掛けるところをよくしのぎ、開始39秒には西村が、素早く市川の懐にもぐりこみ、市川の左手を担ぐ一本背負投を仕掛けたところ、これが見事に決まり一本。

### 決勝戦

6 生田 秀和 (ALSOK)	大外刈	4 西村 久毅 (了徳寺学園)
--------------------	-----	--------------------

決勝戦は、新旧の対決となった。生田は開始早々内股、大外刈で果敢に攻める。西村は防戦一方になって、59秒、指導1を受ける。その後も生田の攻撃が続くが、西村は隙を見て低い一本背負投で応じる。1分44秒には、西村の一本背負投と見せての小内刈が綺麗に決まって技ありを奪い、西村がリードする。その後は、生田が猛反撃に転じ、2分4秒、右釣手を突き上げ、右刈足を高く伸ばして鋭く深く刈り込む豪快な大外刈で西村を畳に叩き付け、一本。歴戦のベテラン生田が格の違いを見せ付けるような豪快な柔道を見せ、オール一本勝で7年ぶり2度目の優勝を飾る。